

ご存じですか？
（江別市「生涯活躍のまち」）

2021年春、大麻地区に



が誕生します!!



全部で〇〇件のご応募をいただき、名称が決定されました。「江別市生涯活躍のまち」の名付け親は〇〇在住の〇〇〇〇さんです。

■■■■■ができるまで



STEP 1 江別版「生涯活躍のまち」構想策定

■平成29年3月策定 ▷ 札幌盲学校跡地の一部を中心とした大麻タウン型モデルを推進

【構想の基本的な考え方】

- ・ 江別市民が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指す
- ・ 若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現し、まちの持続可能性を高める
- ・ 大学をはじめとする地域の特色ある社会資源を十分に活用する

STEP 2 事業者の選定

■平成30年5～8月 ▷ 公募・選定

「社会福祉法人日本介護事業団を代表法人とするグループ」に決定



STEP 3 生涯活躍のまち形成事業計画の策定

■令和2年3月策定

「生涯活躍のまち」構想を実現するための具体的な事業内容を記載

※この計画によりサービス付き高齢者向け住宅の入居要件を60歳以上から50歳以上とすることが可能に

STEP 4 開設準備室オープン

■令和2年4月

事業者による■■■■■のPR及び入居や利用に関する相談受付を開始



STEP 5 ■■■■■ (生涯活躍のまち) 始動

■令和3年春 ▷ オープン予定

「生涯活躍のまち」の拠点地域として事業者を中心に、江別市、自治会、市内4大学、商店街などが連携して支援

■■■■■ (生涯活躍のまち CCRC※) の 目指す方向

※米国で普及したCCRC (Continuing Care Retirement Community) が発祥。
健康時から介護時まで継続的ケアを提供する高齢者のコミュニティを意味する。

市民が
住み慣れた地域で
生涯にわたって
安心して暮らし
続けられるまち



子どもや
若年層、障がい者、
高齢者など多様な
主体が交流できる
「共生のまち」



事業者が主体
となり、江別市、
自治会、市内4大学、
商店街などが連携
する活力あるまち



介護等施設

配置イメージ

スタイル

介護サービス等について



3種類の介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護事業所）とサービス付き高齢者向け住宅を整備することで、在宅を基本としながら、ご本人やご家族の状況を踏まえ、住まいや施設の選択ができる環境を構築してまいります。

看護小規模多機能型居宅介護事業所

病院を退院した医療ニーズの高い方に対し、常駐する看護師の医療的ケアのもと、訪問、宿泊サービスを提供しながら、必要なリハビリを行います。

■登録定員 29名（通い18名、宿泊9名）



介護老人保健施設

退院後、在宅でのスムーズな生活が送れるよう、必要なリハビリテーションを行うとともに、在宅復帰時の適切なケアプランを作成いたします。

■全室個室 80床、通所デイケア 20名



障がい者就労訓練グループホーム

障がいのある方が必要な支援を受けつつ、住み慣れた地元で働きながら、共同生活を送ります。入居者の方と地域の方との交流の機会の確保にも取り組んでまいります。

■定員20人（2ユニット）



サービス付き高

入居を検討されている皆さんの声を伺い、に沿ったお部屋、サービスを提供します。（入居対象は、）

■全50室
Aタイプ（1）
Bタイプ（1）
Cタイプ（1）

パーク
ゴルフ場



とらふぐ
養殖場





障がい福祉サービスについて



他地区の特別支援学校高等部に通う生徒の卒業後や高等養護学校の江別市への誘致を見据え、■■■■■内の各施設や地域との交流の機会を確保しつつ、生活の場（グループホーム）と訓練、就労の場を合わせて整備し、障がいのある方が住み慣れた地域で暮らすことのできる環境を構築してまいります。

特別養護老人ホーム

在宅での生活が困難となった方に入所していただき、お一人おひとりの状況に応じて、日常生活や健康管理・療養上のお世話、機能訓練等を行いながら、自立した、その人らしい生活を送っていただけるよう、支援を行います。

■全室個室 80床



企業内保育所

■■■■■内で働く方のお子さんの保育を行うとともに、定員の一部を活用し、地域の待機児童の解消にも貢献してまいります。

■定員 30名



就労継続支援A型事業所

レストランやカフェでの調理・接客、パンの製造等の就労の機会を提供し、障がいのある方が賃金を得ながら自立した生活を送ることができるよう、支援してまいります。

■利用定員 20名



パン工房



レストラン



入浴施設



12
丁
目
通



若者向け住宅

「コーポラティブの会」ながら、それぞれの希望環境を提供してまいります。（以上の方となります。）



25.4㎡) … 15室
30.0㎡) … 20室
34.2㎡) … 15室

交流施設等の概要



交流広場・交流農園

入居者や利用者、地域住民との交流の場として整備します。

農園では、農福連携にも取り組んでまいります。



地域のおそびのひろば

企業内保育所などの施設を活用し、就学前のお子さんを持つ親子が気軽に集い、交流できる場として「地域のおそびのひろば」を開催いたします。



レストラン・パン工房

レストランでは、養殖したとらふぐの料理をリーズナブルな価格で提供いたします。

また、パン工房には、イートイン形式のカフェも併設し、地域の方の憩いの場としてもご利用いただけます。



入浴施設

入居者や利用者、地域住民の交流と憩いの場として、サウナや露天風呂を備えた温泉施設を運営いたします。



パークゴルフ場

9ホールのコンパクトなコースです。

市民自らの運営により、入居者や利用者、地域住民の交流と健康増進の場として提供いたします。



とらふぐ養殖場

北海道では珍しいとらふぐの養殖を低コストで行います。

また、養殖場は、高齢者や障がい者へ働く場としても活用してまいります。



教えて! ■■■■■

生涯活躍のまち (CCRC)

Q & A コーナー



Q 1

なんで大麻元町にあるの？



A 1

元々、大麻元町には札幌盲学校がありましたが、平成27年3月の閉校を機に、道立高等養護学校を誘致するための活動を始め、今も行っています。

そうした中、平成29年度に策定した江別版「生涯活躍のまち」構想において、まちづくりの動きや地域活動の可能性などの現状分析や市民アンケート、道立高等養護学校の誘致活動の状況などを検討した結果、「札幌盲学校跡地の一部を中心とした大麻タウン型モデル地区」として選定しました。



Q 2

レストランやパン工房ってだれでも利用出来るの？

A 2

利用者や入居してる方はもちろん、地域の皆様にご利用いただけます。

レストランではとらふぐ料理をリーズナブルに提供するほか、パン工房で作ったパンは、イートイン形式のカフェで提供する予定です。



Q 3

■■■■■ではどんなことをするの？

A 3

介護・福祉サービスの提供に加え、敷地内の施設等を地域の皆さんにも開放し、就労やボランティアのほか、趣味や運動、学び等の余暇活動など、様々な生きがいづくりや健康づくりを通じて、子供から高齢者まで、障がいの有無を問わず、多世代が集い、交流する場となるよう、取り組んでまいります。



Q 4

施設への入居や利用をしたいときは？

A 4

大麻第二住区会館内に開設準備室を設けています。入居や利用に関するご相談はもちろん、まちづくりに関するアイデアのご提案なども受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

☎ 011-807-7260 / Fax 011-807-7261



「生涯活躍のまち」 開設準備室に ご相談ください！

ご入居、介護・福祉サービス等のご利用に関するご相談のほか、各施設での就労やボランティア、
■■■■■への期待やご要望など、何でもお気軽にご相談、ご連絡ください。



江別市生涯活躍のまち開設準備室

住 所 江別市大麻東町13-38
(大麻第二住区会館内)
電 話 011-807-7260
F A X 011-807-7261
E-mail ebetsu-ccrc@note.or.jp



Facebook ページへの「いいね」や
シェアもお願いいたします。
<https://www.facebook.com/ebetsu.ccrc/>



実施事業者からのメッセージ

わたしたち日本介護事業団では、江別市と締結した協定に基づき、江別版「生涯活躍のまち」構想の具体化と「共生のまち」づくりに向けた取組を進めております。

具体的には、在宅での生活を基本としつつ、心身の状況等に応じて、必要な介護サービスを受けながら、住替え等ができる施設群を整備するとともに、年齢や障がいの有無を問わず、多世代が交流する拠点づくりも進めてまいります。

また、自治会や商店街、市内4大学など地域の資源と連携し、若者からアクティブシニアまで、全世代の活躍を支えるプラットフォームの構築にも取り組んでいきます。

本年4月からは、大麻第二住区会館内に、開設準備室を設置し、まちに関する様々なご相談に対応するほか、まちづくりのご提案なども伺っておりますので、お気軽にお越しください。

社会福祉法人日本介護事業団 理事長 対馬 徳 昭

○グループ構成員

医療法人社団日本医療大学 日本医療大学病院、農地所有適格法人株式会社つしまファーム、株式会社つしまマネージメント、NPO法人シニアアクティブ

その他のお問い合わせ先

○つしま医療福祉グループ本部

住 所 札幌市清田区真栄434番地6 アンデルセン福祉村
電 話 011-885-8787

○江別市企画政策部政策推進課

住 所 江別市高砂町6番地(江別市役所2階)
電 話 011-381-1033